



令和3年10月11日
中部地方整備局
清水港湾事務所

浜名湖において、船舶を活用した緊急物資輸送訓練を実施します

～ 港の賑わい拠点「みなとオアシス浜名湖」を防災拠点としても活用 ～

南海トラフ地震や大型台風等の大規模災害発生時に、陸路による支援が困難となる場合に備え、海からの支援体制を強化するため、浜名湖において、清水港湾事務所の港湾業務艇^{※1}や漁船等の船舶を活用した緊急物資輸送・被災者支援訓練を、官民連携により実施します。

(本訓練は、津波災害が発生し、陸路による支援が困難となる場合を想定。
なお、港湾業務艇による緊急物資輸送訓練は、初めての実施。)

また、本訓練は、みなと(浜名港)の賑わい拠点である「みなとオアシス浜名湖^{※2}を防災拠点としても活用する試みであり、今後、他港の「みなとオアシス」も含めて、関係機関と連携した海路による防災体制の構築を進めていきます。

※1 港湾業務艇：港湾の工事監督や施設点検で使用する船。

※2 みなとオアシス：国土交通省では、港を核として地域住民の交流や観光の振興に取り組むエリアを「みなとオアシス」として登録し、賑わいづくりを支援しています。現在、静岡県内では6港が登録されています(みなとオアシス浜名湖は、本年7月に新規登録)。

記

1. 日時 令和3年10月13日(水) 13:00～

2. 訓練内容

- ①清水港湾事務所港湾業務艇「ふじ」により、御前崎港から「みなとオアシス浜名湖」(浜名港岸壁)に緊急物資を広域輸送
- ②プレジャーボートにより、浜名湖入出公共マリーナ及び伊佐見公共マリーナから「みなとオアシス浜名湖」(浜名港岸壁)に緊急物資を輸送
- ③内陸の避難所に物資を届けるため、浜名港岸壁に集約した緊急物資を小型漁船に積み替え、浜名川を經由して洲崎の船揚場に輸送
- ④港湾業務艇「ふじ」により、「みなとオアシス浜名湖」(海湖館)から舞阪漁港に被災者を移送
- ⑤漁船により、「みなとオアシス浜名湖」(海湖館)から浜名湖サービスエリアに被災者を移送

(訓練ルートの詳細は別紙1を参照下さい)

3. 参加機関

国土交通省清水港湾事務所、静岡県、湖西市、浜松市、御前崎市、
(公財)浜名湖総合環境財団、浜名漁業協同組合、
ヤマハマリーナ(株)、(株)スズキマリン、
御前崎港港湾建設工事安全協議会(青木建設(株)、大石建設(株)、
静和工業(株)、(株)橋本組)



4. 現地取材対応場所・時間

浜名港岸壁 13:00～15:00

海湖館 14:20～15:00

(場所等の詳細は別紙2を参照下さい)

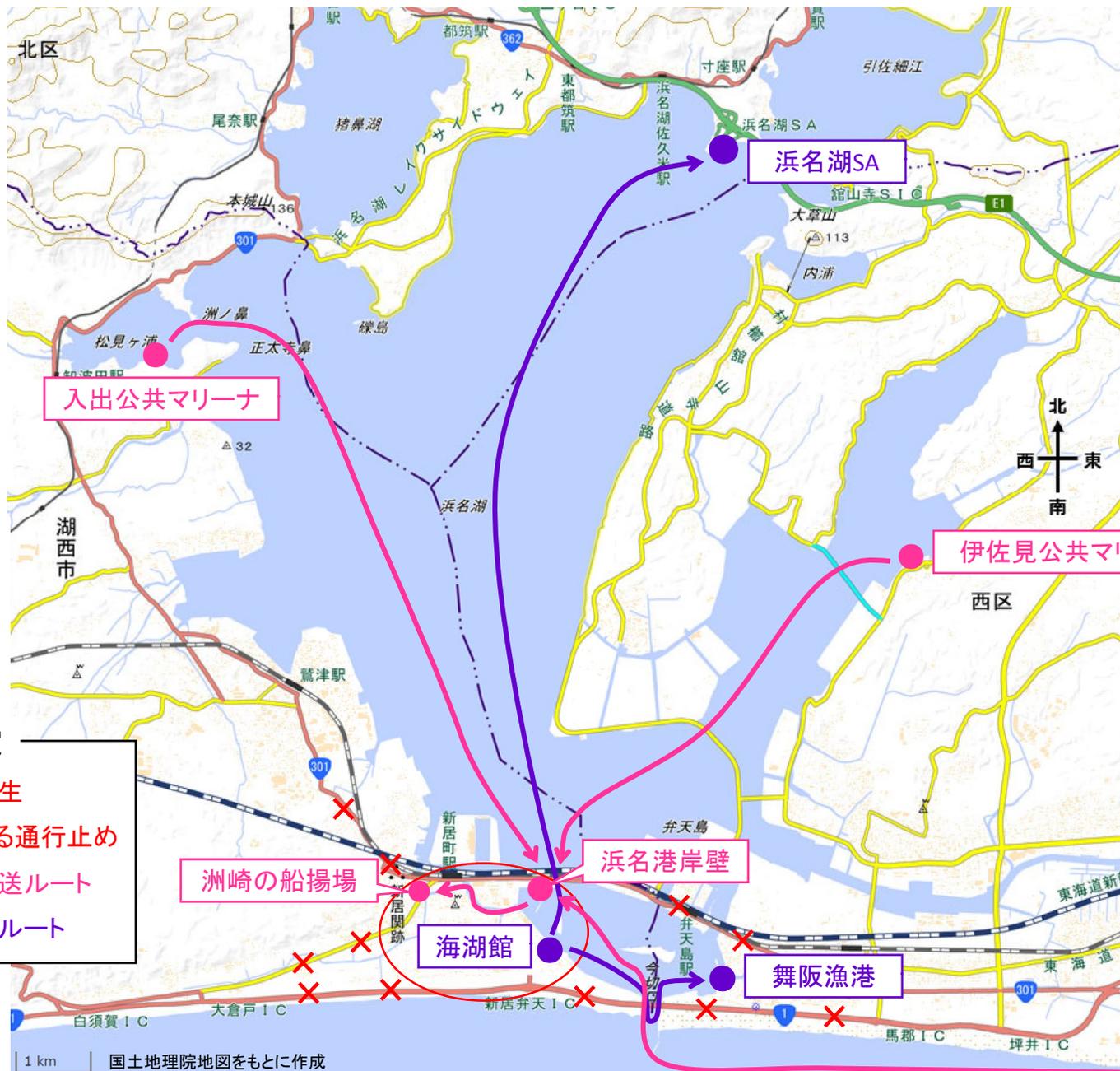
5. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞社、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

6. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所
総務課 都田(みやこだ) Tel 054-352-4146

別紙1 訓練ルート



訓練想定

- 孤立等の発生
- × 浸水等による通行止め
- 緊急物資輸送ルート
- 被災者移送ルート

御前崎市から
支援物資を海上輸送

別紙2 現地取材対応場所

浜名港岸壁



国土地理院地図をもとに作成

タイムスケジュール

- 13:20 緊急物資輸送船(港湾業務艇、プレジャーボート)が到着
 - 13:50 海湖館→浜名湖SA行きの被災者移送船(漁船)が岸壁前を通過
 - 14:00 クレーン付きトラックにより、各船から岸壁への緊急物資陸揚げを開始
 - 14:40 洲崎の船揚場行きの緊急物資輸送船(漁船)が出港
- 終了

※ 時間は概ねの目安であり、多少早まる可能性があります。ご注意ください。
※ 海湖館の駐車場を利用する場合は、駐車券をお渡しますので、事前にお申し出ください。

海湖館



国土地理院地図をもとに作成

タイムスケジュール

- 14:40 被災者救援船(港湾業務艇)が到着
 - 14:40 被災者の乗船開始
 - 14:50 舞阪漁港に向けて港湾業務艇が出港
- 終了